

弘前学院聖愛高等学校 調査書 記入例と記入上の注意

手書き記入例 調 査 書

ふりがな		せいあい はなこ		性別	② 女		入学		③ 私立 聖愛中学校		
氏 名	① 聖愛 花子		平成 22 年 6 月 25 日生	令和 5 年 4 月 1 日 転入学・編入学	学校名	⑤					
④ 令和 8 年 3 月 1 日		卒業見込 卒業		転入学・編入学の記録		⑤					
⑥ 必修教科の学習の記録											
教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	計	総計
評定	1年	3	3	3	3	3	3	3	3	27	81
	2年	3	3	3	3	3	3	3	3	27	
	3年	3	3	3	3	3	3	3	3	27	
⑦ 特別活動等の記録						⑨ 総合的な学習の時間の記録					
学級活動	学級活動の記録を入力してください。					総合的な学習の時間の記録を入力してください。					
生徒会活動	生徒会活動の記録を入力してください。					⑩ 総合所見及び指導上参考となる諸事項 総合所見及び指導上参考になる諸事項を入力してください。					
学校行事	学校行事の記録を入力してください。										
部活動	部活動の記録を入力してください。										
その他	その他の記録を入力してください。					⑪ 欠席の状況					
⑧ 資格・特技 資格・特技を入力してください。						学年	欠席日数	備 考			
						1年	1	風邪 1			
						2年	0				
						3年	0				
						健康等に関する特記すべき事項 ⑫					
作成年月日	令和 8 年 1 月 5 日					校長氏名	長内 弘光				
作成者氏名	弘学 太郎					印					

調査書作成上の注意

1. 記入上の一般注意

1. 調査書は、令和 7 年 12 月末現在で記入する。
2. 数字は、算用数字を用いる。
3. 記入する必要のない欄又は記入事項がない欄は、斜線を引く。
4. 「校長氏名」の欄の印は職印とする。

2. 各欄記入上の注意

- ①「氏名」の欄には、戸籍上の氏名を記入する。
- ②「入学・転入学・編入学」については、生徒が第 1 学年に入学した年月日又は転入学・編入学した年月日を記入するとともに、入学・転入学・編入学について該当するものを○で囲む。
- ③「学校名」の欄には、学校名を記入する。
- ④「卒業見込・卒業」については、校長が卒業を認定する予定の年月日又は認定した年月日を記入するとともに、卒業見込・卒業について該当するものを○で囲む。
- ⑤「転入学・編入学の記録」の欄には、以前在学していた学校名と転・編入学年を記入する。また、海外帰国生徒については、この欄に帰と朱書したうえ、海外在住地名、海外在住期間を〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月と記入する。
- ⑥「必修教科の学習の記録」の欄には、次のように記入する。
(ア) 第 1 学年及び第 2 学年の必修教科の評定は、生徒指導要録に記載されたものを転記し、「計」の欄には、各学年の各教科の評定の合計を記入する。

弘前学院聖愛高等学校 調査書 記入例と記入上の注意

(イ) 第3学年の必修教科の評定は、次のとおりとする。

イ) 原則として、令和7年12月末までの学習に基づいて記入する。

ロ) 評定は5段階で表し、5段階の表示は、5、4、3、2、1とする。その表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」を5、「十分満足できると判断されるもの」を4、「おおむね満足できると判断されるもの」を3、「努力を要すると判断されるもの」を2、「一層努力を要すると判断されるもの」を1とする。なお、他都道府県からの出願者については、当該都道府県の評定方法により記入する。

ハ) 「計」の欄には、各教科の評定の合計を記入する。

(ウ) 「総計」の欄には、学年別評定の合計を記入する。

⑦「特別活動等の記録」の欄には、次のように記入する。

(ア) この欄には、原則として第3学年について記入するが、第1学年、第2学年において、顕著な活動等がある場合は、そのことについても記入できる。

(イ) 「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、「部活動」の各欄には、顕著な活動等がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。

(ウ) 「その他」の欄には、学校内外における奉仕活動・表彰を受けた行為や活動等で顕著な活動がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。

⑧「資格・特技」の欄には、取得している資格及び特技について具体的に記入する。

⑨「総合的な学習の時間の記録」の欄には、学習活動や評価の観点、生徒にどのような力が身に付いたかなどを文章で記述する。原則として、第3学年の学習に基づいて記入するが、第1学年、第2学年において顕著な取組等がある場合は、そのことについても記入できる。

⑩「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、生徒の状況を総合的に把握する上で参考となる次のような事項などについて記入する。

(ア) 各教科等に関する所見

(イ) 行動に関する特記すべき事項及び所見

(ウ) 生徒の人柄や特徴に関する所見

(エ) 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

(オ) 無欠席、無遅刻、無早退等特筆すべき事項

(カ) ⑦、⑧、⑨において書ききれない事項

⑪「欠席の状況」の欄には、次のように記入する。

(ア) 「欠席日数」の欄には、各学年の欠席日数を記入する。

(イ) 同一学年において7日以上欠席がある場合には、その理由を備考欄に記入する。

⑫「健康等に関する特記すべき事項」の欄には、次のように記入する。

(ア) 健康や身体等の状況に関し、特記すべき事項や指導上参考となる諸事項がある場合は、それを記入する。

(イ) 「身体等の状況の記録」を提出した者については、『「身体等の状況の記録」提出』と記入する。

⑬令和7年3月以前に中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者については、必修教科の評定等は生徒指導要録に記載されたものを転記し、その他は、生徒指導要録に記載された内容をもとに、①～⑫に準じて記入する。